

スケートボードの聖地「むらかみ」サードプロジェクト



国内唯一のスケートボード競技のナショナルトレーニングセンターとして、子どもたちや若者が競技者として活躍することができる夢を応援します。

①スケートボード普及事業（指導料、施設整備費など）

初心者教室、ミドルスクール、アスリートクラスまでの全てのステージにおけるスケートボード選手を夢みる子どもたちを応援育成する事業です。

②市主催大会および国内スケートボード大会開催事業（大会運営費など）

主にスクールの子どもたちを対象とした市主催大会の開催のほか、国内・海外の大会を誘致し、開催することで施設利用者の増加による交流人口の拡大に取り組みます。

③合宿誘致事業（報償費など）

国内外の競技団体等での合宿を誘致し、子どもたちの国際交流の機会の創出をはじめ、スポーツツーリズムの推進により、交流人口の拡大と地域経済の活性化に取り組みます。

令和7年度 目標額
800万円



スケートボードの聖地を目指して

本市は、東京2020オリンピック競技大会に合わせて「スケートボードの聖地」を目指し、2019年4月に国内最大級の屋内型スケートパークを整備しました。現在、国内唯一のスケートボード競技のナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設（NTC）としてスポーツ庁から指定を受けているほか、国内最高峰の大会となる日本スケートボード選手権大会をはじめとする規模の大きな大会を誘致し、開催してきました。また、合宿の誘致ではこれまで日本代表チームをはじめ、海外のナショナルチームを受け入れ、国内外のトップアスリートを支援してきました。

パリ2024オリンピック競技大会のスケートボード競技に出場した日本代表選手は、スケートボードの真の精神を披露し、お互いを讃え合いながら果敢に夢の舞台に挑戦し、世界中に勇気と感動を与えてくれました。大会の機運を逃さず、これまで以上にスポーツツーリズムを通じた交流人口の拡大と地域経済の活性化によるまちづくりを目指し、これからも世界へ羽ばたこうとする子どもたちの夢を応援していきます。